

## インタグ地方への行き方

2011年7月25日更新

1. キト市内北部バスターミナル(Terminal Norte Carcelén)から、オタバロ(Otavalo)行きのバスに乗る。=\$2.00
2. オタバロのバスターミナルにある、バス会社 Cooperativa Transporte de Otavalo からインタグ行きのバスに乗る。

出発時:8時、10時、14時。

(6 de Julio というバス会社もある。出発は12時と15時。ただしバスの質は落ちる。終点まで行かない場合、チケットを売ってくれない場合もある。)

- \* アプエラに行く場合: Apuela までのバスチケットを購入。(2時間半~3時間)
- \* ラ・フロリダに行く場合: Santa Rosa までのバスチケットを購入。(2時間~2時間半) Santa Rosa から徒歩。(1時間)
- \* エル・ミラグロに行く場合: Santa Rosa か、San Antonio de Pucará までのバスチケットを購入。Santa Rosa からだと、ゆるやかな道だが、1時間半くらいかかる。San Antonio de Pucará からだと、急なこう配だが、30分ほどで着く。ただし、道に慣れていない場合は、エル・ミラグロの管理人さんと調整し、迎えに来てもらわないと確実に迷う。
- \* プカラに行く場合: San Antonio de Pucará までのバスチケットを購入。(2時間~2時間半)
- \* ナングルヴィ(温泉)に行く場合: Nanglúví までのバスチケットを購入。(3時間~3時間半)  
(水着着用での温泉。日本の温泉には劣るが、インタグのほぼ全域には、温かいシャワーがないので、長く滞在する場合にはおすすめ。こぎれいなキャビンもあり。)
- \* フニンへ行く場合: ガルシア・モレノまでのバスチケットを購入。ただし、ガルシア・モレノ行きでないバスもあるので注意。(4時間~5時間)その後フニンの人と調整し、ピックアップトラックなどでフニンへ。(1時間、\$30)

### インタグにおける注意事項:

- ・ バスチケットは前日に買っておかないと、立ち乗りになる可能性大。
- ・ 帰り(オタバロ行き)は、ほぼガルシア・モレノ以外からはチケットが買えないので、金土日(土曜)は立ち乗りを覚悟。
- ・ 水などはあらかじめ準備。
- ・ 車内にはトイレもないので、トイレもあらかじめ行っておくことをお勧めする。途中、La Delicia というところでよくトイレ休憩があるが、トイレそのものがしまっている可能性もあるので、女子は野××を覚悟。また、ドライバーに自分の存在をアピールしておかないと、置いてけぼりにされる可能性あり。

- ・ 長くがたがたの道のりなので、乗り物酔いする人は、酔い止めを飲んでおく。
- ・ 荷物は、大きすぎなければ、下のトランクに入れてもらうよりも、自分の膝なりひざ下に置いておくことをお勧めする。もしトランクに入れるならバックパックカバーなど(なければ、その辺でズタ袋を購入。バスターミナルのそばに売っている)をつけた方がよい。(埃だらけになるため。)
- ・ インタグはすべての道ががたがたなので、スーツケース(キャスターが壊れる可能性大)は避けた方が懸命で、ボストンバッグよりも、両手が自由になるバックパック(リュック)がお勧め。
- ・ 長く歩くとき、森に行くときは、長靴で行くことをお勧めする。
- ・ 帽子、虫よけ、長ズボン(短パンは虫にたくさん刺される)、雨具などは必須。